



ひとう



海援隊旗(二曳きの旗)

http://www.ryoma-kinenkan.jp

# 磊 磊 RAIRAI RAKURAKU 落 落

東北地方太平洋沖地震

義援金つる

3月11日(金)東北地方で、観測史上初の大地震が発生しました。坂本龍馬記念館は、義援金をつり被災者の方にお送りします。ご協力をお願いします。詳細は8頁をご覧ください。

立馬館 龍本念 高坂記

龍馬発信・チャレンジ……

## 開館20年けじめの年、ハワイ・ニューヨークでフォーラム

### ● 龍馬の行けなかつたアメリカで ●

新年度目前の3月11日、東北地方太平洋沖地震が起きた。頭の中が空っぽになった。その状態が続いている。ただ、混沌の中でもはっきりしているのは龍馬記念館にとつて今年が一つのけじめ年であること。昨年の大河ドラマ「龍馬伝」の後押しもあって、龍馬記念館は「龍馬の殿堂」の地位を不動のものにした。いまさらながら、龍馬の人気、期待感の大きさをかみ締めるわけだが、それはそのまま混沌の平成現代にオーバーラップしないか。混沌の中で「龍馬」をどう生かし実践するのだろうか。今年のメイン企画は「風になつた龍馬VOL.3」時代は未来へ」10月アメリカでのフォーラムは「本場の自由・平等とは」をテーマに、戦争なき平和社会実現に向け発信する。原点は「命の大切さ」に尽きるだろう。龍馬が目指して行けなかつたアメリカ。原爆の被害者国と加害者国。世界の潮流は世界の指導国アメリカに黒人のオバマ大統領を生んだ。地球は確かに変化している。

### ● 命の大切さ ●

#### 「地球規模で考えよう！」

20周年事業、そして3年越しの総決算になる。10月11日(月)「ハワイのプナホウスクールとハワイコンベンションセンター、そして同月14日(金)「ニューヨーク、ジャバノンサエティの文化ホール。この2箇所でのフォーラムが決定している。日本側の参加者は坂本龍馬、勝海舟、ジョン万次郎のそれぞれの子孫と、二人の高校生、龍馬記念館長、学芸員、さらに、ミュージシャン、書家、帽子デザイナー、一般の方々も加えておよそ30人になる見込みである。テーマは「本場の自由・平等とは」。

### ● 生きるヒントの一冊に ●

#### 李登輝台湾元総統の手紙も

戦争のない世界平和実現のために、命の大切さを訴える。この3月、日本は未曾有の大災害で多くの人命を失った。世界各国から即時に援助の手が差し伸べられた。何事も地球規模で考えなければならぬ時である。今回のフォーラムにはその思いを込めたい。(森)

### ● シェイクハンド龍馬像 ●

龍馬記念館の入館者が龍馬へ寄せるメッセージ「拝啓龍馬殿」の書籍第2弾は、平成14年から22年のメッセージから300通を選んで掲載する。今回は前回と少し体裁を変え、龍馬記念館へお越しくださった著名な方々、政界、芸能界

などからも龍馬へメッセージをお寄せいただいた。例えば、台湾の元総統李登輝氏、ソフバンク社長孫正義氏、演歌歌手の金田たつえさん、そして、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の脚本家福田靖さんなど。また、龍馬が姉・乙女に宛てた手紙も掲載。様々な手紙から、生きるヒントを感じていただける一冊になることと思う。3月末までに、メッセージの選別・入力作業を終え、4月初旬には選ばれたメッセージを書いた方に、書籍への掲載可否をお伺いする往復ハガキをお送りする。ハガキの返送期限は4月末ですが、作業上、ハガキが届いた方は早めのご返送をお願いいたします。



制作中のシェイクハンド龍馬

### ● シェイクハンド龍馬像 ●

#### 最初のシェイクハンドは誰？

ほかにもう一つ。館の正面に「シェイクハンド龍馬像」の設置を予定している。等身大で誰でも気軽に握手できる龍馬さんである。高知県展彫刻無鑑査の先生方の共同制作にあだこうだと意見を交わしながらの作業現場は、けんかごしになることも。5月には原型が完成。富山でブロンズになり11月は除幕式の段取りだ。

さて、握手第一号は？誰にしようか。その日龍馬を取り囲んだ人垣の光景が目につかぶ。(森)



# 殿堂としての証し充実の展示に、「龍馬ハ生キテイル所蔵品」展

所蔵品も少なかつた時代から20年を経過して、龍馬記念館はその存在感を大きくしている。「龍馬の入り口」から、現在では「龍馬の殿堂」として龍馬ファンにも認められるようになった。これからはさらに発信基地としての機能発揮に力を入れる。今回の所蔵品展はそうした意味からも、新たな出発点に立った館の証明として、これまでに収集した資料類を駆使して龍馬を浮き彫りにしたいと考えている。

現在、館の所蔵品は1000点を超えた。昨年のNHK大河ドラマの影響が大きい。何より龍馬を通じて歴史に興味を持つムードに拍車がかかったのは間違いない。昨年六月、吾川郡伊野町の南道さんから寄託いただいた大政奉還直前の慶応3年10月13日付け、後藤象二郎宛龍馬の手紙など、タイミングと南さんの協力あって初めて公の目に触れることになったものだ。館にはご存知の「海援隊約規」弘松家寄託がある。龍馬の「仕事」の始まりと終わりの「証」がそろっているということである。甲藤家からの寄託資料、左行秀作の龍馬の刀と脱藩罪赦免文書はそこにそのまま、幕末を感じる迫力である。ほかに、龍馬の所持していたものと同型のピストル、スミス&ウエッソ

土佐京都藩邸資料(574点)も控えている。まだ、手つかずのものもあり、今後の展開が新たに幕末の謎を解く鍵にもなる。館の学芸員たちも、宝の宝庫。だと期待を込めている。また、歴史資料ではないが、書家、人形作家、ガラス工芸作家らが、それぞれの分野で心を込めて制作した龍馬にまつわる芸術作品の寄贈も受けている。こうした作品についても展示することにしている。とにかく、館全体を使った所蔵品展にした。 (森 健志郎)



「龍馬ハ生キテイル・所蔵品」展のチラシ

## 「龍馬・心のふるさと」安田町との連携交流始まる 第一弾は、高松家の人々、を紹介

高知から50キロ。安芸市の隣町、安芸郡安田町。龍馬の長姉・千鶴はこの安田の高松順蔵に嫁いだ。龍馬は、千鶴とは十八歳順蔵とは二十八歳違い。諸国を回って見聞を広め文武に長けた順蔵、やさしい千鶴。まるで両親のよき二人であり、小さな甥や姪もいる。順蔵のもとには、中岡慎太郎やのちに海援隊士になる石田英吉ら近隣の若者が教えを請いに來ていた。安田での人との交流や時勢の情報は刺激的だったことだろう。

郷土の家督を早くに末弟・勇蔵へ譲った順蔵一家はつましい暮らしぶりであったことが千鶴の手紙で分かるが、龍馬には非常に居心地のよい場所だったようである。脱藩後になじんだ京都伏見の寺田屋は順蔵の家にいるようだと手紙に書いている。京都でも龍馬は安田の海を思っていたのだろうか。安田は龍馬にとって、心のふるさとであった。

そんな龍馬たちのことに思いを巡らせるのにふさわしい場所が安田町に出来た。大正昭和期の医院と旧家を合わせて修築した「安田まちなみ交流館・和(なごみ)」である。「瓦の一枚一枚にまでこだわった」(岡正幹町長)という見事な日本家屋である。

高松順蔵・千鶴夫妻の二人の息子女子は、坂本権平、龍馬の跡をとった。姉は田野の弘松家に嫁ぎ、北海道へ渡った弟たちに代わって高知で坂本家のことを守った。記念館に寄託されている貴重な資料群は弘松家のものである。

そんな安田町にある交流館・和がこれから龍馬記念館と連携交流していくことになった。龍馬も含めて、安田から出発した人々をこれから顕彰、紹介していくにふさわしい場所である。安田町もゆかりの龍馬書簡の複製をつくり、展示環境を整えるなど力が入っている。これからの館に楽しみである。連携交流企画第一弾は「龍馬、心のふるさと展」(5月22日)。「せむし」(3月19日)、「5月22日」。「せむし」安田まちなみ交流館・和にお出かけください。 前田 由紀枝



コンサート会場となる座敷

### ◆関連イベント◆

「龍馬の手紙を読む 朗読コンサート」4月3日(日)15時開演  
会場：「安田まちなみ交流館・和」  
入場料：500円  
定員：120人  
女優小林綾子さんが、龍馬、心のふるさとで龍馬の手紙を披露します。西村直記さんのシンセサイザ演奏も。

## 「吉村虎太郎」展から見えてきたもの

— 交流・連携が結果を生む —

吉村虎太郎はこれまで歴史の表舞台に登場することのなかった人物で、今回のように関連資料をこれだけ集めた企画展開催は少なかった。それだけに、多方面からの期待の中での開催となった。虎太郎展目当てに遠方からお越しくださる方も多く、虎太郎ファンの多さと熱意を実感した。龍馬記念館にとっても新しい試みをおこなった企画展となった。

### ●市町村との連携

今回の企画展では、虎太郎の出身地である高知県津野町から、多大なご支援・協力をいただいた。虎太郎直筆書簡など展示品は、町民の方から津野町へ寄贈されたもので、展示パネルの作成に当たっては、津野町在住の方々に電話や手紙のやり取りでアドバイスをいただいた。4月以降、津野町で計画されている虎太郎の展示については、今回当館が作成した展示パネルを貸し出すなど、今後、両者の関係をより密に深める方針である。

### ●関連イベントの開催

虎太郎展の期間中、津野町のご協力で5回の関連イベントをおこなった。津野町で4年に1回開催されている「高野農村歌舞伎」の、新たな演目に「虎太郎魁大和錦」を加え2月5日高知公演をおこなった。また龍馬記念館でも、津野町の伝統の舞「花取り踊り」と「津野山古式神楽」を計4回ご披露。当日は、

分が欠けており、総裁である虎太郎の名前が確認できなかった期間途中から展示した資料はこの役割一覧が完全な状態で、この2点の資料を並べて展示した。このように、天誅組隊士の資料でなくても、写しというものが存在し、そこから歴史を紐解くことができるということも、この展示を通して感じていただけたと思う。

坂本龍馬の活躍の陰には、様々な人物の行動があり、龍馬に影響を与えた人物を通して龍馬が見えてくるということ。今回の企画展で実感した。それには、当館所蔵の資料だけでなく、他の博物館や、個人の方、市町村で持つ資料や知識を借りる。ことが必要不可欠であり、今後は、様々な分野の方々とも交流しながら内容の充実した展示を企画していきたいと考えている。

尾崎 由紀



関連イベントの「花取り踊り」もたくさんの人でにぎわった

## 進むアメリカフォーラムに向けた取り組み



ブナホウ高等部日本語科の先生たち (中央がひろみ先生)

一月中旬、私は初めて合衆国ハワイ州を訪れた。到着した翌日、ワイキキのメイン通りは「自由」「平等」というプラカードを持った人たちのパレードで賑わっていた。この日はキング牧師の記念日で、合衆国の休日だったのだ。私はアメリカフォーラム打合せの第一歩を象徴する光景に身が引き締まるのを覚えた。

自由と平等、自由を掲げた「風になつた龍馬」は今年、3年目のまよめに入つた。百五十年余りの時を超え、龍馬に代わって私たちは十月、アメリカに行く。ハワイをアメリカフォーラム最初の地を選んだのは、ここがオバマ大統領の出身地だからである。

観光客で賑わうワイキキに背を向けるように進むと、ハワイ大学と並ぶようにブナホウスクールという幼稚園から高校までの一貫校がある。ハワイ州でも有数の名門校で、オバマ大統領の出身校だ。ここを会場にしたいというのが私たちの願いであった。ブナホウスクールでの関係者以外



休み時間にくつろぐ高校生。授業は選択制で自分のカリキュラムを組む

また、シンポジウムはハワイ日米協会などの協力で別会場での開催を計画している。

いよいよアメリカで龍馬、海舟万次郎のメッセージを発信する時が来た。

### ◆VOL.1

ハワイフォーラム  
10月11日(火)

### ◆VOL.2

ニューヨークフォーラム  
10月14日(金)

### ◆同行ツアー開催

10月9日(日)17日(9日間)  
申込・問合せ

土佐電トラベル tel 0888-822011  
高知新聞観光 tel 0888-22514334



# 「罅は知っている！」⑤

## 土佐の幕末維新

土佐歴史資料研究会 現代龍馬学会  
小島 一男

前回までのあらすじ

土佐勤王党を弾圧した、吉田東洋が暗殺された。その責を負って武市瑞山が切腹に追い込まれる。徹底的に責められたのは後藤象二郎であった。龍馬は武市の遠縁になる。だから、後藤と龍馬とは敵対同士。それが、後藤から龍馬に歩み寄っていく。いかさるを得ない、時代の動きと土佐藩の事情である。

### (三) 後藤象二郎の活躍

慶応二年も押し迫ったころ、後藤の宿「土居屋」に松井周助と溝淵広之丞が訪れた。

「後藤様、ようやく坂本龍馬より会談に応じるとの返事が参りましてござります。つきましては、日取りと場所ですが、来年の正月中ごろ『自由亭』と考えておりますが・・・」

聞いた後藤は手をあげて大きくうなずいた。

「苦勞じゃったねや。よう、そこまで進めてくれたのう」と二人をねぎらった。が、少し思惑顔になった。白磁に染付けの色鮮やかな亀山焼きの火鉢を手元に引き寄せている。声を落とす。

「じゃが、『自由亭』はいかんぜよ。あそこは役所(土佐商會)の者がよう出入りしゅう店じゃき。坂本君も気を遣うじやろう。

小島 一男

心に具足をつけたままでは、まともな話も出来んぜよ。どうじやろう、榎戸町の『清風亭』あたりは・・・」

「うん、わしにちつくとええ考えがある」

そう言って、後藤は「フフフ・・・」と笑った。

「ハハハ・・・。仰せの通りにいたします」二人は顔を見合わせてうなずきあった。後藤の龍馬に対する細やかな配慮が嬉しかった。実はその時点で後藤は、既に龍馬の思惑を察知しこれから展開されるやり取りも計算済みであった。その基礎は松井、溝淵の綿密な報告である。

「亀山社中」の現状、活動状況から後藤は龍馬が提示してくる条件を予測し、龍馬が納得するであろう答えまで練っていたのである。用意周到な後藤の性格がのぞく。

慶応三年正月八日から好天が続いた。十三日当日は、長崎特有の西風が吹き寒かった。龍馬が「清風亭」の前に立つと、待ち受けた主人の平助がすぐさま後藤の待つ座敷へと案内した。

「坂本龍馬、お招きに預かり、参上いたしましたござります。一礼して龍馬は顔を上げる。床を背にした後藤象二郎の周囲を固めるように松井、高橋昇六、溝淵が並んで座っている。その後藤の右隣が空席になっていた。龍馬が戸惑っている、後藤は気軽に立ち上がり、手招きした。

「坂本君よう来たねえ。こっち、こっち」

その空いた席を指差した。遠慮する龍馬を、広之丞が座るよううながす。龍馬はやっと着席した。表情は硬いままである。その気持ちほぐすように控えた主人の平助が隣の部屋に向いて手を打って声をかけた。「お客様おそろいですか」。

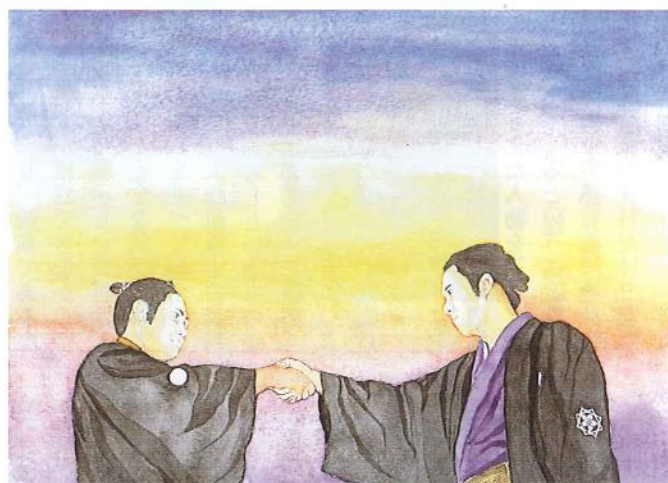
後まで聞かず、芸妓四人が登場した。いっぺんで座敷は明るくなる。龍馬の視線が一人の芸妓に釘付けになった。驚きの表情である。後藤の長崎弁が飛んできた。「お元、早よう坂本君の横に来んね」

驚く龍馬を楽しそうに見ながら後藤が言う。

「坂本君、この象二郎、不器用な男じゃき、これで精いっぱい気を遣うぢやうがぜよ。怒りなよ。」

酒を注ごうとする後藤を龍馬は苦笑して、「いえ、こっちから」と酒を注ぎながら「こりやあ後藤様、なかなか、今日一等のごちそうに違いないですけん、どういてお元のことか・・・?」

「ハハハ・・・。そりやあ内緒、内緒じゃ」



(画) 和田 通博

後藤は龍馬の追及を、手を振ってかわした。

お元は丸山の芸妓で龍馬のなじみであった。ほかの三人は同じ置屋の芸妓である。ただ、お元のことには亀山社中の仲間にも龍馬は隠していた。妻、お龍の手前があつたのかも知れない。やがて、おたか、おりえ、おとよの三人も座に加わって酒宴は一層にぎやかに打ち解けていく。龍馬の心も、この後藤の粋な計らいにほぐれていったはずである。

後藤の言う心の具足を脱ぎ捨てた二人はその後、土佐藩と「亀山社中」の提携を決意、さらに国事の大局を大いに語り合った。後藤は「藩論」の修正、「倒幕」の可能性をも示唆したと言われる。よく十四日付け、長州、木戸孝允への龍馬の手紙には「・・・土佐藩重役、後藤象二郎と相談し、よほど夜の明け候景色か・・・」と書き送っている。

後に「清風亭会談」と呼ばれるこの会談は、後藤象二郎と坂本龍馬との人間同士の信頼関係を生じさせ、将来の大政奉還に繋がる糸口となった。四月には坂本龍馬と中岡慎太郎の脱藩罪が許され、龍馬は「海援隊」の慎太郎は「陸援隊」の隊長に就任するのである。(次回に続く)

### 史料で裏付け

## 「龍馬の隠れた材木小屋考察」

2010年夏、大阪龍馬会「龍馬大学校」に龍馬研究最前線として坂本龍馬記念館主任

学芸員の三浦さんをお招きして、「京都土佐藩邸関係史料」の話をして頂いた。二次会で「伏見奉行所報告書」に「伏見村上町材木商近江屋三郎兵衛の材木納家」に龍馬が寺田屋で襲われた後隠れていたとの記述があり、軽い気持ちで調べてみるわと言ってしまった。

近江屋という材木商

「伏見奉行所報告書第一報 京都所司代宛 慶応2年1月24日」には「当地村上町財木渡世近江屋三郎兵衛財木納家へ龍馬手紙を受候儘立入右場所江血二染候羽織田葉粉入、革籠、胴乱等取捨置立去申候。」とあり、現代語訳すると「伏見の村上町材木商近江屋三郎兵衛の材木納屋へ龍馬が手傷を受けたまま立ち入り、右場所へ血に染まった

羽織やたばこ入れ、革籠、胴乱など捨てて立ち去ったようです。」と書かれている。伏見村上町は現在の伏見区村上町とほぼ同じ区域であった。

「近江屋三郎兵衛」を探し始めた。「天保12年の伏見鏡」には「樵木屋仲間 近江屋安兵衛」とある。また、「角川日本地名大辞典 京都府上巻」の村上町に「近江屋権右衛門」と表記があることから幕末当時、近江屋という屋号の材木商は存在していた。

### 近江屋から江崎へ

「伏見町史」には坂本龍馬の遭難の項に「西濱の材木小屋 元江崎氏所有小屋に入り」とあった。近江屋が江崎。これは近江屋と江崎を結び付ける史料を探さねばと、材木関係の史料で

「京都材木業外史伝」を調べてみると「近江屋権兵衛は、明治初期に江崎権兵衛と改名し、諸国産材木売捌問屋と材材入札売市場を経営した」と

あった。これで近江屋と江崎が一致した。江崎権兵衛(1844~1914)は伏見過書で家業の材木商を営むかたわら酒造業を営む。明治12年(1879)に京都府会議員となり明治22年(1889)には初代伏見町長となった。(『京都市姓氏歴史人物大辞典P169』より)

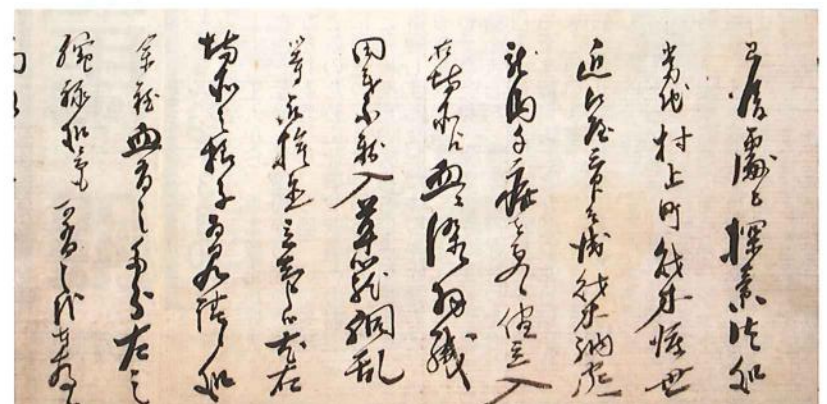
### 全てが繋がって

さて近江屋権兵衛と三郎兵衛を結び付ける接点を探さなければならぬ。「都道府県別産家地主総覧 京都編2」には「材木商 江崎権一(江崎権兵衛長男)」の横になんと「江崎三郎兵衛」の文字を発見した。ということは、近江屋三郎兵衛と江崎権兵衛が同一人物なのか。江崎権兵衛は1844年生まれだから慶応2年には22歳である。同一人物とも考えられる。

江崎権兵衛は、明治26年(1893) 5月27日に現在の寺田屋西隣にある敷地を購入していた。「京都の江戸時代をあるく」。寺田屋跡地を龍馬が隠れた材木小屋の持ち主で屋号が「近江屋」の江崎権兵衛が購入したことに歴史の因縁というか全てがつながり身が震えた。

龍馬が隠れた材木小屋の場所は、近江屋の材木小屋、すなわち現在は「北川本家大手浜工場」がある場所あたりであったと考えられる。史料的な裏付けが出来たことが何よりうれしいことである。

(大阪龍馬会 事務局長 林慎吾)



伏見奉行所報告書第一報



現在の写真



# 拜啓 龍馬 殿

407通

平成22年12月21日〜平成23年3月20日

メリークリスマス！僕のアイドルです。ファンになって15年、やっとここへ来ることができました。自由の女神より感動しました！あなたに会いに遠く東京よりやってまいりました。私は2010.3.11に入籍しましたので、龍馬殿にご報告に参りました。これから二人で仲良く力を合わせて頑張りますので、どうか私たちが心身ともに健やかに暮らしていけるよう見守ってください。

12月24日 東京 K・A 31歳 A・A 34歳

高校生の頃、司馬遼太郎先生の「龍馬がゆく」であなたを知り、この高知を訪れるのも5回目です。その度にあなたに触れ、ますます好きになっていきます。今年は「龍馬伝」で若い人達にもあなたを知る人が増えまして喜ばしいことです。しかし、私ほどあなたを尊敬している者はいないでしょう。「龍馬のようについで」かく座石の銘です。

12月26日 奈良 N・I 47歳 男性

龍馬さん、あなたが亡くなって175年、昨夜はあなたの生まれ育った所の旅館に泊まりました。あなたが夜出てきたという人もいました。誰かに乗り移りこの日本を変えてください。

12月26日 熊本 M・T 33歳 女性

「龍馬伝」を見て龍馬さんの息子。また高知に来ます。

12月26日 大阪 N・I 38歳 女性

私と米国人アフロアメリカンの夫との間の9歳のひとりの娘は、龍馬殿が自分のルーツを築いたひとりの偉人だと考えております。龍馬殿が生きた時代、米國も奴隷制度を巡り南北戦争勃発龍馬殿と、南北戦争で戦った北軍なくして、アフロアメリカンの現在の自由はなく、日米の関係も始まるなかつたと考えられております。ご存命21世紀に貴殿をこのように敬い、慕う子供が産まれようとは、さしもの龍馬殿もお考えなさらなかったのでは？(笑)

1月7日 東京 W・L 女性

私の隣にいる。龍馬は龍馬の大ファンです。「龍馬の生まれ変わりなんだ」と自信を持っていますが、家の洗濯さえできない、使えない男です。こんな男を支えるお龍馬さんのような女になれたらいいなと思います。

1月8日 無記名

今回で高知へは3回目、ここに来たのは2回目です。何度来ても、龍馬さんの故郷はいいところだなあ...と思います。昨年の高校受験の勉強がきつかったので、龍馬さんの生きた「幕末」という時代が大好きになりました。受験当日の問題にも龍馬さんが出てビックリ！お蔭で希望の高校にも合格できました。これから私は大学へ進学し、龍馬さんの時代に關わることを研究したり、ゆくゆくは仕事としていきたいと思っています。どうか見守ってください。

1月10日 札幌 U・K 16歳 女性

自分探しの旅にやってきました。女一人旅なので不安があまりでしたが、高知の方は優しい方ばかりですね。年配者の土佐弁にとっても癒されます。龍馬が見た桂浜を見てみると「小さなこ

主人から、坂本龍馬が好きだと、結婚前からずっと聞かされて約10年。今回、いつも私と娘のために仕事や家事への協力を頑張ってくれている主人へ、娘と共に感謝の気持ちで高知旅行を計画しました。ウキウキと嬉しそうに主人の様子に、娘と「パパ嬉しいだね、来てよかったね」と話しました。長年の夢が叶った今回の土佐の旅で、私と娘も少し坂本龍馬のことが知れたらいいなと思います。

12月28日 埼玉 Y・K 36歳 K・K 9歳

ドラマ等でかなり話題になってるのにも関わらず、あまり坂本龍馬に関心がなかった私、坂本龍馬記念館に来て、考え方が、世界が変わりました。なぜ今まで坂本龍馬という偉大な人物を知ろうとしなかったのかわかりませんが、世界が変わりました。龍馬を知ることができたこと、そして、彼のユモアさや人間性にも強く魅了されました。高知・土佐に来訪したときには必ずまた記念館に参りたいです。ありがとうございます。

1月1日 埼玉 H・T 20歳 女性

ちょうど一年前、NHK大河ドラマ「龍馬伝」が始まり、あなたを知りました。日本人が好きな偉人の一位にも輝く人が、なぜ教科書ではほんの一行しか載っていないのだろう。そもそもこんな一行程の「薩長同盟を結んだ」で表される人がなぜこんなに沢山の人が愛されるのだろう。疑問だらけでした。しかし、回が進

むごとに私も自然とあなたにひかれ、大ファンになりました。今こうして高知を訪れました。あなたの栄光が沢山の人の心に、沢山の人の心を動かしてました。あなたのようにありたい。

1月2日 三重 Y・S 16歳 女性

あけましておめでとうございませう。整いました！「龍馬記念館」にかけて皿鉢料理とく「そのころは」もうおなかイッパイです。整いました！「坂本龍馬」をかけて箱根駅伝とく「そのころは」時代を駆け抜けました。

1月2日 徳島 Y・K 59歳

あなたが今の時代生きていてくれたらどんな世の中になっていた事でしょうか？すべての面で苦しい生活をしていすが、あなたの一言でやすらぎが得られるのではないかと、テレビの中の龍馬さんを見ながら思いを募らせていました。終わってしまったのでともさみしいです。

1月2日 徳島 Y・K 59歳

今回、生まれて初めて高知県に来ました。今年の正月はいつもこの夕日夕陽と正月とは変えたいと思つたからです。昨年は会社の業績も向上せず、周りの人間が離れていき、家族にも苦勞をかけた一年でした。そんな中でも今年に繋がる新しい事業展開の見えた一年でもありました。総合得点は45点でした。平成23年は必ず飛躍の一年にします！会社の業績を必ず単月黒字にして、思いっきり利益を出し、家族の給料も上げ、社員さんと定期的な食事をし、2、3名増員もします。あなたのような先見の明はありませんが、一歩ずつ必ず変えていきます。なかなか会いに来ませんが、次回会うときは良い報告をできるように頑張ります。

1月3日 愛知 K・K 40歳 男性

一昨年の夏、この記念館に来たときに、手紙を書こうとペンをとりました。でも龍馬さんが偉業をされた33歳という節目の時に、33歳の自分から手紙を送りたいと心に決め、今日まで待ちました。そして何と、龍馬さん、私：結婚することになりました！昨年の夏、龍馬さんの像の下で突然プロポーズをされ、あなたが見ていた前でちゃんと返事をしました。今春4月2日、結婚式を挙げます。4月で34歳になる私は、龍馬さんには遠く及びませんが、激動の33歳を過ごしてきました。これからはまる新しい生活。一生懸命生きていきます。次は2人でお会いに来ますね。

2月11日 無記名

一昨年の夏、この記念館に来たときに、手紙を書こうとペンをとりました。でも龍馬さんが偉業をされた33歳という節目の時に、33歳の自分から手紙を送りたいと心に決め、今日まで待ちました。そして何と、龍馬さん、私：結婚することになりました！昨年の夏、龍馬さんの像の下で突然プロポーズをされ、あなたが見ていた前でちゃんと返事をしました。今春4月2日、結婚式を挙げます。4月で34歳になる私は、龍馬さんには遠く及びませんが、激動の33歳を過ごしてきました。これからはまる新しい生活。一生懸命生きていきます。次は2人でお会いに来ますね。

2月11日 無記名

娘の高知大学医学部の受験のために来ました。朝一番の面接だったので、夕方飛行機まで観光できることになり、ここにも来れました。黒船に驚いていた日本も今は飛行機ですよ！が、私と娘は高知駅から自転車に乗って来たよ。1時間半です。ゆっくりにあちこち見れて楽しかったです。土佐の人たちは礼儀正しく親切です。縁があり、どうか娘を合格させてください！おねがい龍馬さん！

2月26日 神奈川 A・N 42歳 女性

昨日2月26日は大学入試試験でした。高知に来たのは初めてで、戸惑いながらも懸命に入試問題と向き合ってきました。どうか、龍馬さんのお力で合格させていたください。今日一日旅行は、受験戦争からの一時の休憩、荒れていた日々とは全く別空

## \*\*\* 編集者より \*\*\*

年末・年始をはさんだ今回のメッセージには、「龍馬伝」をきっかけに龍馬に興味を持ち、大ファンになったという方のメッセージがたくさん寄せられました。龍馬は単に歴史的に重要な役割をはたした人物だけでなく、人間的にも魅力溢れる龍馬を通して感じたいという方が多いのではないでしょうか。今年には龍馬記念館20周年の記念イベントを多数予定しております。昔ながらの龍馬ファンの方も、新たに龍馬ファンと龍馬記念館にご注目ください!!

尾崎 由紀

## ここは館長の部屋 森 健志郎



坂本龍馬像

「そりゃ、すまざった！」  
デスクから朝の光の中ですっきりブルーの水平線眺めながら考えている。  
桂浜の龍馬像の横に、唐突に武市平半太と中岡慎太郎のプラステック製張りぼてが設置されるという。事件。のことだ。あえて「事件」と言わしていただく。龍馬記念館にとっては「一大事」なのだ。掲げるスローガンは「観光振興策」。確かに前年の「龍馬伝」効果で、高知県は大いに潤った。その流れを絶やすな、今年にも、という思いの集約だろう。焦る気持ちも理解できぬわけではない。ただ、明らかに方向性を間違っている。だから、何も響いてこないのだから。  
桂浜の龍馬像を大事にし敬うという事は、高知県人としての誇りにまで通じるものでないか、と私は思う。毎日のように全国からやってくる龍馬ファンの、彼らの龍馬に寄せる思い入りの深さに、私は日々感動し龍馬の妻を教えられる。皆さん人生の節目、節目に桂浜にやってくる、龍馬に相談し、約束し、励まされ、慰められ、勇気をもらって人生に立ち向かう。その一人ひとりに龍馬は一人に対応する。問題の軽重は当然ある。早急に解決せねばならぬ問題もあるかも知れない。いや、その方が多いはずである。例えば、死神にとりつかれた青年が、龍馬の眼差しと波音に救われたケースもある。「明日のお見合いに力貸してください」と若者顔は真剣そのもの。「レギュラーになれますように」は小学生だ。自分の病氣、家族の病氣の相談。職場のストレスなども珍しくない。その思いを、彼らは館の「拜啓龍馬殿のコーナー」に足跡として残して行く。龍馬の銅像の前で、あの空間、で彼らが癒されているのは紛れもない事実なのである。  
レプリカ設置推進派はもし龍馬に事態の状況を聞いたとしたら「ビジネスチャンスじゃ。わしを使いや」と答えるだろうとおっしゃる。私はそうは思わない。龍馬は言う。「武市さん、慎太郎。ここはのう、人に聞かれとうない話を胸に来る人が多いがよ。わしやあ、皆なあに答えちゃらなあいかんき、すまんけんど、席を外しちゃってくれんかえ。」  
「そりゃあ、気がつかないで、すまざった。」  
頭をかきかき出て行く二人の姿が、私には見える。

## 坂本龍馬記念館は龍馬さんへのエントランス

20周年おめでとう、ございます。この坂本龍馬記念館を訪れるたびに、新たな発見と課題が生まれます。現在は、この20周年の記念式典in USAに併せて、龍馬・勝・ジョン万が主役の英語版紙芝居を鋭意作成中です。早いもので、私が記念館にお邪魔するようになり、15年程になります。きっかけは、当時毎年夏に開催されていた「龍馬絵手紙コンテスト」でした。  
以降、三浦主任との史料の取材や、企画展の看板・ポスターのイラスト作成、前田主任の元、土佐清水でのアープロジェクトで一人芝居、近江屋対談、日テレの歴史バラエティ番組出演等々、数々の試練、いや龍馬芸人への引導をいただきました。  
その後、森館長のご発案で、地元の子供たちに向けた「龍馬さんを通じて、友だちを思いやる心を育てる紙芝居」を作る企画がスタートし、それ以降、龍馬さんの紙芝居づくりは、私の



龍馬さんへのエントランス

ライフワークになっています。森館長がいつもおっしゃるのは龍馬さんの精神に宿る「自由と平等」の理念です。これらをおられることなく、人から人へ伝えること、大切だと大変さを、お会いするたびに改めて思い知らされます。それを柱として、これからは新しい龍馬さんを、様々な手段で描いていく所存です。  
この8月には、龍馬さんのイラスト展示会を「海の見えるぎやらりー」で開催させていただきます。このチャンスと喜びを一人でも多くの人と共有したく思い、同じような夢を持つ若手のイラストレーター達にも呼びかけることにしました。  
館長はじめ、記念館の皆さまには、お手数お掛けする事となりますが、この場をお借りして今後とも宜しくお願い申し上げます。ありがとうございます。  
楠本 剛



# ★ 海の見える・ぎやらしい ★

## 好評のパネル展 希望者には貸し出しも

1月1日、新年にスタートした「現代龍馬学会パネル展」。おかげさまで大変好評だった。学会員6人の研究発表のテーマはそれぞれで、大型パネル（140×90センチ）2枚に、発表者が自由に表現するという方法であった。変化に富んだパネルを熱心に読む人、メモをとる人、中にはパネル前で記念撮影する人もいた。事務局をわざわざ訪ね、感想を伝えてくださる方も少なくなかった。このような来館者の反応が何よりも発表者の励みになる。理事会では今後も引き続き、年一回のパネル展を続けていくことを決めた。また、パネルは希望があれば今後いろいろな場所に貸し出しできるような検討を進めている。現代龍馬学会の発信の機会がまたひとつ増えた。（尚、今回のパネルは5月の第3回現代龍馬学会会場で展示） = 渡辺 =



宮川 禎一	「奇異の想いをなしたり～高知の人々が見たおりの姿」
鈴木 典子	「安政大地震もリアルに～池道之助の「文物見聞録」
公文 久雄	「きゃしゃに見えて強く～幕末土佐の土佐鋸」
小島 一男	「海防から倒幕へ～幕末土佐、銃砲の変遷」
森田須磨子	「宇宙の自然に大政奉還せよ～戦争のない幸福な世界を築きたい」
渡辺 瑠海	「平成の龍馬になる条件！～3つの南学精神～」

## 「龍馬への熱い思いを写した詠んだ 龍馬ゆかりの写俳展」を終えて



会場風景 “入賞俳句写俳作品”

昨年の10月から2ヶ月間に渡り開催された展示会は、高新文化教室 写俳教室 岩崎勇氏の企画で、5月からの俳句募集で始まりました。応募頂いた句は405点集まり、11月21日には表彰式も行いました。ところがその席にいらっしやるはずの岩崎さんが残念ながら欠席。実は、

約半年間の準備期間を経て、初日が開いてから入院されました。行動的に色々な所で写真活動をされていたご本人に、休養をということだったので2ヵ月後には退院され、現在は自宅療養中だとお伺いしています。

「写俳」とは写真に俳句あるいは俳句に写真を付けたもので、この2つが組み合わされて作品となります。正直私もこの企画で初めて「写俳」という表現があることを、岩崎さんから教わり知りました。

俳句の審査は「写俳」の創始者・伊丹三樹彦氏を筆頭に、ぎやらしい担当ということで僭越ながら私も参加させて頂きました。俳句にはほとんど縁が無かった私ですが、皆さんの作品を読んでいく中、凝縮された新たな表現の世界に引き込まれてしまいました。

2月、岩崎さんから写真展のご案内を頂きました。薬の副作用と闘いながらご自分の世界に更に挑んでいらっしやるご様子。写真の探求はまだまだ続きそうで、少し安心しました。 中村 昌代

## ■新コーナー夕顔の船室

### 船中八策を書いた部屋

館の南詰め「海の見える・ぎやらしい」の一角に、土佐藩船「夕顔」の船室が再現された。龍馬が「船中八策」の草稿を練り、長岡健吉と二人で仕上げたという歴史的場所である。ただし船の設計書があるわけではなく、高知大学のダレン教授がイギリスに渡り造船所関係の資料調査から、わずかに船室のたたずまいをつかんだものである。昨年「龍馬伝」の関連イベント巡回展が歴史民俗資料館で開かれた際、展示された。それを今年1月譲り受けた。



工事には数日かかったが、「ぎやらしい」にセットしてみるとこれがなかなかいい。第一、部屋の窓の外は本物の太平洋である。天井には船室よろしくて暖房用の鉄パイプも走っていて、雰囲気を出している。船室のドアの向うは海、海、海の四季だ。いすに座れば「夕顔」気分。ギャラリー展示の壁面の延長として部屋の壁も使うことにした。これで、「ぎやらしい」全体にも変化が来た。早速、2月は「龍馬の家族」展、3月は「幕末人物ベスト10と帽子デザイナー山本正子の帽子コラボ」展。つまり、志士たちが帽子を被った。面白かったぜよ。（森）

工事は数日かかったが、「ぎやらしい」にセットしてみるとこれがなかなかいい。第一、部屋の窓の外は本物の太平洋である。天井には船室よろしくて暖房用の鉄パイプも走っていて、雰囲気を出している。船室のドアの向うは海、海、海の四季だ。いすに座れば「夕顔」気分。ギャラリー展示の壁面の延長として部屋の壁も使うことにした。これで、「ぎやらしい」全体にも変化が来た。早速、2月は「龍馬の家族」展、3月は「幕末人物ベスト10と帽子デザイナー山本正子の帽子コラボ」展。つまり、志士たちが帽子を被った。面白かったぜよ。（森）

工事は数日かかったが、「ぎやらしい」にセットしてみるとこれがなかなかいい。第一、部屋の窓の外は本物の太平洋である。天井には船室よろしくて暖房用の鉄パイプも走っていて、雰囲気を出している。船室のドアの向うは海、海、海の四季だ。いすに座れば「夕顔」気分。ギャラリー展示の壁面の延長として部屋の壁も使うことにした。これで、「ぎやらしい」全体にも変化が来た。早速、2月は「龍馬の家族」展、3月は「幕末人物ベスト10と帽子デザイナー山本正子の帽子コラボ」展。つまり、志士たちが帽子を被った。面白かったぜよ。（森）

## 入館状況

2011年3月20日現在（開館以来7,022日）

- ◆総入館者数 2,943,388人
- ◆最多入館 (2010年5月2日) 6,686人
- ◆最少入館 (2004年10月20日、台風のため) 8人
- ◆2010年度最多入館 (2010年5月2日) 6,686人
- ◆2010年度最少入館 (2010年12月22日) 170人

## 【東北地方太平洋沖地震 義援金窓口】

高知県立坂本龍馬記念館では、館内の募金箱のほかに以下の内容で義援金窓口を開設しました。ご協力をお願いいたします。

金融機関 四国銀行桂浜通支店 (店番号117)  
 預金種別 普通預金  
 口座番号 5101638  
 口座名 東北地方太平洋沖地震義援金  
 高知県立坂本龍馬記念館 森健志郎

※銀行でのお振込みには別途手数料がかかります。ご了承ください。

## 編集後記

大河ドラマ「龍馬伝」でいつの間にか我を忘れ、今年は眼前に聳え立つ開館20周年の責務にまだ腰が据わらない。そこへ、3・11大災害。思考回路が完全に狂わされた。脳機能が止まったように動き出さない。テレビニュースにかじりついている。やっと、義援金をスタートさせた。だが、それ以上が思いつかない。時だけが正確に過ぎていく。(モ)

館だより「飛騰」第77号 (年4回発行) 表紙題字：書家 沢田 明子氏

発行日 2011(平成23)年4月1日  
 発行 高知県立坂本龍馬記念館

〒781-0262 高知市浦戸城山830  
 TEL (088)841-0001 FAX (088)841-0015  
<http://www.ryoma-kinenkan.jp>  
 「飛騰」に対するご意見ご感想などお寄せください

開館時間 9:00～17:00 年中無休

入館料 一般500円・高校生以下無料

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者1名  
 高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

館だより「飛騰」は、郵送料のみのご負担でお届けいたします。ご希望の方は、90円切手5枚をお送りください



# 高知県坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

## 龍馬縁の地

### 「八畳岩への思い」

高知市議会議員  
現代龍馬学会員

川村 貞夫



#### 私のテーマ

#### 田中良助と2人で

龍馬はすつくと立ち上がってつづやいた。  
「山内の殿様も小さな城にいるものだ。それにしても海は広いのう」  
傍らで田中良助がうなづいた。

「キラキラと光るのは鏡川か」  
「坂本殿のお屋敷は右手の方でございます」良助は応える。

「乙女ねえやんに連れられて泳いだ川だ」  
若い龍馬と田中良助はよくこの岩に上った。

そして、城下を見下ろし、遠くの景色を眺めながら、世界の国々にまで思いを馳せるのであった。

この岩こそ、龍馬縁の地であり、後々の龍馬を育んだ場所である。  
その名を「八畳岩」という。

#### 返さなかつた借金

この大きな岩は、高知市の北山の柴巻にある。

畳八畳ほどの広さがあるところからこの名がある。坂本家所領の山番をしていた田中良

助邸に程近い所にこの岩はある。龍馬は1861年の文久元年に武市瑞山が中心となって創った「土佐勤王党」に名を連ねた。そして、龍馬は武市の命を受け、長州の久坂玄瑞を訪ねる際に、田中良助から金2両を借用している。その証文が平成になって屋敷を修復した時に、襖の下張りから発見された。

龍馬が返金をしたなら、証文はないはずだが、襖の下張りから発見されたとなると、龍馬はこの金を返していないのだから、良助も龍馬の旅支度の金は、銭別程度に考えたのではないか。二人の親しい間柄が垣間見えるようだ。

#### 和霊神社と鏡川

龍馬は文久2年に脱藩する。その際に、祈願したのが神田の和霊神社である。坂本家の先祖が伊予の和霊神社から分霊して建立したものだ。龍馬が子

どもの頃から親しんできたこの神社には毎年お参りし、ことあるごとに祈願してきたのである。龍馬が命がけの脱藩を決意し、出立の際にはこの神社で水杯をおおつて、勇ましく踏み出したのである。今、この神社近くには大きなヒノキが何本かあるが、樹齢からして150年を優に超えていると思われ、若木の頃のヒノキが龍馬の旅立ちを見送ったと推察する。さらに遡ること1835年。龍馬は、上町にあった才谷屋で生まれた。幼少期の龍馬に剣術や泳ぎを仕込んだのは、坂本家の三女の乙女であった。龍馬が



「八畳岩」を訪れると皆、誰もこの笑顔。遠くに太平洋が見える。

剣道の手ほどきを受けた日根野道場は、坂本家の南、築屋敷界隈にあったといわれている。おそらく龍馬が泳いだとされる場所もこの辺りの鏡川ではないかと思う。成長した龍馬が江戸に出た時、待ち受けていたのは、世界の列強のことであり、黒船に代表されるようになってつ

もない現実であった。勝海舟は地球儀をぐるりと回して、世界情勢を語った。そして、海運の重要性を説いた。龍馬には見るとのばかりであっただろうが、それを実によく吸収していく。

#### 伝わる龍馬の足跡

龍馬はもつとも感受性の強い時期に、八畳岩に上っている。それは、田中良助に可愛がられたこともあるが、実はもつと深い意味がここにはある。岩に上れば、高知城が見下ろせる。鏡川の流れが見える。さらに、浦戸湾から太平洋も一望できるのだ。東南に開けたこの場所は、運氣も集まる。今流に言えば、市内有数のパワースポットである。龍馬がこの岩に上り、土佐藩の城下を鳥の目でもって眺めたことが、後々、龍馬がいくわすことになる大きな事件でのものの方、考え方の下地になったのではなからうかと、私は思う。

幼少期の原体験や原風景が、知らず知らずのうちにその人格を形成していく。龍馬が泳いだ鏡川、お祭りやお参りに通った和霊神社、足繁く通い好んだ八畳岩。どれもが龍馬に大きな影響を与えたであろう。しかし、幕末当時の面影は今はなく、どれも大きく変わっている。唯一、八畳岩だけは大きさも、厚さも若い龍馬が座った当時と寸分も違ってない。ただ、岩に生えていた松の木が枯れてしまったが、それ以外は、全く違いを見せない。そう考えると、龍馬の思いや息遣いが今でも伝わってくるようだ。

#### 学び、感じるJASS大切

龍馬の生きた時代はそれほど多くの情報に囲まれた時代ではなかった。そして「やれ佐幕だ、勤皇だ」、「やれ攘夷だ、開国だ」と対立したり、分裂したりした時代にあつて、その判断行動において龍馬ほど感性豊かな人物はいなかつたように思う。今日の社会では、何か得体の知れないものは評価されないし、理屈に合わないことは排斥されがちだが、私は感じる、ということとは非常に重要であると思う。龍馬の感性はこの八畳岩で養われたと考えている。そんなだけの価値ある場所だ。そんな八畳岩が、今も龍馬の訪れた時と変わりなく佇んでいるのだ。私は龍馬縁の地としての八畳岩を見直して欲しいと考えている。いや、この岩で龍馬が「何を思い」、「何を感じ取った」のか、岩の上で、自らの肌で、五感で感じ取って欲しいと思つているのである。

# 二十歳“成人式”を迎えた龍馬記念館

建築家・武蔵野美術大学教授 高橋晶子さん  
(高知県立坂本龍馬記念館設計者)

【インタビュアー】  
渡辺 瑠海



坂本龍馬記念館が浦戸の城山に建って二十年が経った。広大な水平線に向かう朱と青の鮮やかな建物。このユニークな設計を手がけたのは当時まだ30代の女性建築士だった。その発想の原点に迫る。

## 「龍馬“感じる場所”が注文

Q 渡辺 この建物を20年前に初めて見たとき、形といい色彩といい何だか不思議な感じがした。「坂本龍馬記念館」だと思いついて意外だったことを覚えています。今日はず、設計者の高橋さんがこの記念館の新たな設計をどこからインスパイヤされたのかというところからお話を伺いたいと思います。

高橋 公開設計構想協議で、どんな建築をやるか、それがどんな形で龍馬さんと関係するか、そして、その場所にかかっているかということを考えてきたときに、「龍馬さんの像を」建築に翻訳するということが私にとってなかなか難しいものでした。普通は資料なり絵画なり、主役になる中身があったら、だからこういう部屋があるというふうな、実用や機能をベースにした建築をするのが普通ですが、今回の場合は「龍馬を感じる場所を作ってほしい」というのがコンペの趣旨だったんです。

コンペになる前に募金活動をして、みなさんが館を培ったということとして、龍馬という人物に対して皆さんが思い描く、非常に単純なだけけど前向きな熱意のつながりのようなものを作りたい。逆に言うと、何か不足している、実用性をもって建築を作るわけじゃないんだ、ということが伝わりました。なので、あの海を見下ろす場所に座ったときに、「人はどういふふう

テンツが増えているんですね。そのおもしろさというのは、最初から展示物ありきで見せる博物館、とは違う不思議な生き物みたいな場所、という感覚を覚えます(笑)。

Q それは、10周年のときにすでに感じていたのですか？  
A すごく感じましたよ。「なんか、10年経つとずいぶん違うよなあ」と思いました(笑)。展示品が多くなってきた、悪くいえばちよつとぐちゃぐちゃしてきたなあ、と(笑)。それがすごく悪いこととか、だから建築の配慮が足りないんだとか、そういうことではなく、「そういうふうに見える



に考えていくか、ということ、当時自分が作りたかった建築物とオーバラップさせたんです。

Q 当時の高橋さんが作りたかった建築物とはどういったものですか？

A それはまだ自分の中で、今も整理している最中なんです(笑)。

そう、いわば丘の上へと続く、くねくねと曲がった坂道が途切れていく記念館へのロケーション。途切れたてっぺんに敷地が広がっています。そこに行くとき空と海がぱりっと開ける、その眺望を前に、まず一本の太い線が太平洋に向かっていくイメージが浮かびました。この道の延長線上に軸線があって、これと何を絡ませようかなと模型を作ったりスケッチをしたりにして、うちに突然、箱が水平に浮いて、坂道のシャフトとびたて合う角度がかなり鋭角な記念館の基になった形が浮かんだ。その瞬間はまさに「ピンときた」としかいいようがありません。ただ、太平洋に飛び出していく軸に対して、もうひとつ何を持ってくるかということも悩みました。でも、高橋(夫)が、ふと記念館の模型のガラス箱を持ちあげて、斜めに浮か

ないのが不思議だ」というのが本音です(笑)。何なんだろうなこれは？みたいな感じです。

Q いやいや、それが龍馬の力かもしれませんが(笑)。しかし、建築から見ると、よく言われるように「シンプル・イズ・ベスト」というのがあると思うんです。でも、この館は日々変わりながら進化しているミュージアムですよね。

## 日々変化するミュージアム

確かにそうです。「成長している、動いている」という感じはすごくするんですよ。やはりこれは、パソコンに似ているなあと感じます。人がそこに入ると、どんな使い方をするかで、たとえば今で言うiPadのように最先端の情報機器と違って、ただし情報機器の場合は目に見えないけども、いったんパネル展示系になると、そこにフィジカルなデザイン性が出てきて、「で、それはガラスの箱の中でどういうデザインの統一性をもっているの？」と問われると、持っているものも、むしろ原寸のオブジェクトとして2F「近江屋」みたいな展示が似合っているんです。

Q なるほど。では、逆に記念館にとって難しい展示は何かですか？

A 「パネル展示」なんです。パネルになったものをたくさん立てていくのは、実はなかなか難しいもので、パネルそのものが意志を持っていて、「その中にコンテンツが入ると統一感があって、大きくなる」と思うかもしれないが、実際に体感してみると、「パネルで統一しすぎると、読めなくなる」んです。あれはおもしろいんですね。なんなんだろうね。たとえば八百屋のように、すごい高級感が出る八

せたんです。そしてひとこと「こういうのじゃないんじゃないか？」って言った瞬間にピンときたんです！

うわあ記念館誕生の瞬間ですね。

そう、そこからは理屈ではなくて「これ、イケるよ」という感じで急いで模型を作ったら「これはイケそうだしこれはいい」と勢よくまくらめたんです。でも、図面が1枚足りなかった(笑)。4枚出さなくてはいけない図面を3枚しか出せなかった。最後の晩で描くつもりだったけど、寝てしまっただけで描けなかった。わかんないんだなって思ったりします(笑)。

Q 記念館の周囲を歩いて感じるのには、やはりつくづく独自の建築物だなあとこのことですね。私は特に西側のスロープから本館を眺めると、この館はかなり複雑な構造になっている。設計にかなり時間をかけたらしいんじゃないかと思いましたが、これがいんスピレーションだけで、立体になったものだとにはわかには信じられないのですが。

基本的な3次元の構成は、コンペを出す前に決まってるんです。ね。「これだ！」と言った瞬間に、ほま、この線で行こう、というのには決まってる、あとは設計用語で「おさままり」と言って、現実的にこれが力学的にも、雨どいとか、人の動線とかを詰めていく段階になるんですが、それには普通の建物と同じぐらいの期間がもちろん必要でした。ただ、同時に募金活動も進められておいて、その募金がいっ集まって着工するか、募金団体の中でもなかなか計画通りにいかないとあつて、そういう意味では、その分じっくりと時間を使って構築していくことができました。

それはちよつと、近寄りたいたいですよ(笑)。でも、あつしやりたいことがよくわかるような気がします。

## 家の土間で培われたものづくりの発想

Q この辺でちよつと話題を変えますが、私は記念館の建物を見たときに、高橋さんは小さい頃、どんな子供だったのかな、と聞いてみたかったです。どんな遊び心を持っていて、それをどう培ったのかな？

意外な質問ですね(笑)。子供の頃の私は富士山の麓で育ちました。家は田の字型の土間、農家だったので、土間の掃除は当時の子供の役目でしたので、よく掃除しましたよ。そのあと土間に絵を描いたりとかもしましたね(笑)。本当、絵はとっても好きだったので、チヨクとかいふようなものを使って土間にしゃがみこんで絵を描いてたそうです。

やはりそれが設計士になる素養を養っていたのだしょうね。

もともと本当に絵が好きだったというのがあったんで、漫画家になりたかったりとか、ファッションデザイナーになりたいとか思ってた時期もありました。要するに美術系だったんです(笑)。今でも強烈に覚えているのは、小学6年のときあった大阪万博です。そのときね、あつたさまざまなパビリオンの新鮮だったことと、いつたらなかった！心底ショックを受えました。私はまさにいちばん無心で純粋に万博の楽しさを謳歌した世代なんです。その頃とても好きだった風景は、自分が暮らしている家の土間の台所、当時は天井がなく、木の骨組みがむき出しで、結構そういうのを眺めている

## 二十歳のわが子 “坂本龍馬記念館”

Q ちょうど今年で館は20周年です。いわば高橋さんの「子供」が成人式を迎えたわけなんですけど、これについては今どう思うんですか？

そう言っていただけだと本当にうれいんです。そうですね、嬉しいと同時に、自分が歳を取ったなあ、歳とちやつたなあという気持ちです(笑)。あれえ？もう20年か、早いなあ！という。でも、こういうふうな「成人式ですね」と言っていただけのこと、本当にありがたいことです。感動しました。

Q 高橋さんの子供(記念館)は、二十歳を迎えてどんな子に育ったと思われませんか？

なんか、パソコン買ったときに似てますね。生まれたときには、かなりのハードディスク。良くも悪くもまっさらな状態です。正直言ってそのときには作り上げることに必死で、記念館の20年後まで全然想像できなかった(笑)。産んだはいけど、どう育てようかと考えていない母親のような(笑)。当時はそんなことを思いうる余裕がなかったというのが本音です。

機能が充実していく中で備品が増えていく、パネルも増えていく、ということに関して、良い側面とそうではない側面があって、良い側面は、来るたびになんだか少しづつ、進んでいる(笑)。それってもちろんいいことなんです。スタイルは、やはりがちがちやちやちやしてくるんですよ(笑)。いわゆるデザインの統一性が、なくなってくる。そういう意味では当初とは違う雑音が入ってくるような感じがする。でもその一方で、中を観るとコン

のが好きだったんですよ。

## ガラスはエイジングしない

Q ところでこの記念館ですが、たかが20年、されど20年です。私達は刻一刻と年をとっていくのに、館の外観は建立当初と変わらないように鮮やかだと思つてことがあります。

それはですね、ガラスはエイジングしないからなんです。私は白髪でも全然染めないタイプで、はつきりいって、こういうタイプではないんです(笑)。ですから、いつまでたつても変わらない女優さんっているじゃないですか。お化粧を取ると、素顔はどんなだろう？というふうな、ちよつとつまんないなと思うんです。でも、最近改めてこの建物を見たときに、朱色の部分があつて、いよいよよくなったなあと思えました。

Q そうなんですか。でも、ここに海がある限り、ミラーガラスに映り込むブルーは変わらないですね。

そう。ですからね、ガラスっていうのは年をとらない、恐ろしく強いなとつくづく思つたんです。



## 「話題人」インタビュー



# 「ほれ話」

犬歩棒当記(五)

京都国立博物館 宮川 禎一

この犬歩棒当記の第二回は千葉佐那の話であった。その中で筆者は「龍馬の死後も生涯独身を過ごした」と記した。しかしその後「佐那は一度結婚していた」との新聞報道があった。その話である。

千葉佐那が明治七年に旧鳥取藩士の山口菊次郎なる人物と結婚し、そののち離縁したとは東京の研究者による最新の調査成果である。

明治二十六年八月二十四日の読売新聞ではすでに「龍馬の死後、固く操を守つて現在に至る」という内容の記事が記されている(九月一日の「女学雑誌」の記載とはややエッセンスが異なるが)。自分の結婚歴を取材の新聞記者には話さなかつたのであろう。読売新聞は美談として佐那を生涯独身だたと記述したのだ。

明治時代の後半に成立した「坂本龍馬を想つて生独身だつた」という神話は龍馬ファンの中に深く浸み込んでいたのだ。そのため佐那に結婚歴があることを聞き、筆者も含め、少なからぬショックを受けたのだ。部には拒絶反応さえある。

この話で想起されるのは映画「マティソン郡の橋」である。メリルストリープとクリント・イーストウッド主演で、不倫をテーマとしたアメリカ映画である。一九九五年の封切り当時には大きな話題となったの



愛媛県大洲市河辺町の「御幸の橋」

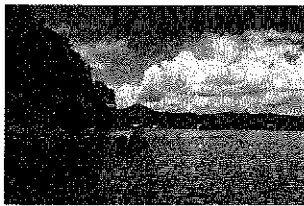
だが、筆者が観たのはやつと昨年のことであつた。老いた母の死後、埋葬や遺品の整理のため実家に来た息子と娘が母の残した手紙と遺品から母親の真の姿を知るといふストーリーである。平凡だが良き妻、良き母であつたはずの実母が女性としての一面を持つていたこと。それを中年となった息子が娘が葛藤しながらも受け入れていく物語である。墓の中まで持つていづつても良かった事実ではあろう。しかし子供二人は母の遺志どおり、真実のすべてを受け入れ、遺言にしたがつて橋のたもとから遺灰を空へと撒いたのだ。印象的なラストシーンである。イーストウッド監督はこの映画で「人間の真実」を表現しようとしたのだ。大人の映画である。

佐那の人生もまたきつと多彩であつたであらう。「この人がそんなことをしたはずがない」といふ後世の人間の決め付けが、いかに歴史の真実とかけ離れているのか。「マティソン郡の橋」の教訓である。

## コラム・龍馬のこと

### 袂石と高知市観光遊覧船

ホテル日航高知旭ロイヤル・現代龍馬学会会員 坂本 雅彦



観光遊覧船

平成20年3月高知市観光遊覧船が高知市九反田より出航することになった。渡邊事務局長のお誘いを受けて乗船した。九反田から出発して桂浜沖に出て帰ってくる。時間は約1時間15分の船旅である。途中、坂本龍馬にゆかりのある場所をガイドで紹介される。それが袂石であつた。

慶応3年(1867年)9月18日坂本龍馬は5人の有志(菅野賞兵征、陸奥陽之助、中島作太郎、岡内俊太郎、戸田雅楽)と共に1200挺のライフルを震天丸に積み込み長崎を出航、途中下関に200挺を下ろし土佐へ。同年9月23日浦戸湾に入港し「袂石」の場所に停泊。龍馬は種崎に上陸し中条家に一泊、その後、本町の自宅に帰り、家族、同士らと宴会している。この出来事は中条家の「随分随録」に記載されている。龍馬はその約2ヶ月後に京都で暗殺される。又、1000挺の内の一挺は戊辰戦争の時、板垣退助が使用している。こんなストーリーが遊覧船の中で聞けるとは驚きであつた。「袂石」を高知県の新しい観光スポットにできないだろうか?そんな思いがひらめいた。骨格は8割できている。後日、渡邊事務局長に伝えた。当初1隻しかなかった遊覧船は関係者の後押しもあって3隻に増えた。ただ、広く認知されるにはまだまだ。そこで、機会あるごとに「袂石」を話題にするように心がけた。遊覧船の中でも「袂石」に近づく時は、「龍馬伝」のテーマ曲を流すようお願いした。そして何より「龍馬伝」で「袂石」を印象づけることは出来ないか考えた。考えた末に2010年2月、私は渡邊事務局長を誘いNHKの高知支局長にお願いに行った。「龍馬伝」の終わりに流れる「龍馬紀行」に「袂石」の映像を流していただけないだろうか?支局長曰く「確約はできないが努力はしてみる」。結果、同年11月、暗れて「袂石」は全国デビューとなったのである。最後にこの「龍馬の袂石物語」をもつと全国に伝えたい。

## “話してみるかよ”

### 若者よ、海を越えよ!

現代龍馬学会会員 三宮 洋一

私とジョン万との出会いは一年前、沖縄のジョン万次郎帰国の上陸地点に行ったときである。それ以来、旧知の友人である永国淳哉先生を尋ねたり、本やネットで調べたりして現在の高知ジョン万会の活動に入った。

昔、ジョン万をテーマにした歌舞伎が上演され、それをジョン万自身が観たという。フィリピンの革命家ホセ・リサルもそれを観ていたらしい。彼の革命を助けたのは土佐人の坂本志魯雄という人だが、私自身、そのフィリピンで2年前から環境問題についてかかわってきたことを思うと何かしらの強いご縁を感じる。

大河ドラマ「龍馬伝」のおかげで、私にも幕末の歴史が少し見えてきた気がする。幕末、20代、30代の若者が故郷を脱藩し日本を動かした。まさにこの力が今の時代に欲しいものだ。通信手段も交通手段も乏しい時代にくらべ、今は膨大な情報があり、自分から求める必要もない。社会人になるまでに、自分から求めて動いた人と与えられたままの人では雲泥の差がつくのは明らかだ。平和ボケした日本では無理かもしれないが、一度どん底まで行って立ち上がったほうが良いのかもしれない。開発途上国や兵役のある国の若者の精神はハングリーで龍馬の時代のそれと変わらなかつたりするものだ。

海外に出て実際にそのような国を見て、彼等と出会い、その場所を見聞きし、体験することこそが、現代の日本の若者には一番大切であるように思う。

こんな世の中だからこそ声を大にして言いたい。「若者よ、海外に出なさい」と。

## イベントのおしらせ 「第3回 現代龍馬学会・研究発表会」

- 日時:2011年(平成23年)5月28日(土) 午前10時～ ●場所:国民宿舎「桂浜荘」地下一階大会議室
- 3回目を迎えた現代龍馬学会研究発表会。今回のテーマは「自由・平等・平和」。公聴は無料です。
- 発表者:三浦夏樹(坂本龍馬記念館学芸員)、広谷喜十郎(土佐史研究者)、高山みな子(勝海舟子孫)、坂本登(坂本家子孫)、野藤 等(讃岐龍馬会塩飽社中)、橋詰明仁(カルチャーサポーター)、上野麻衣(龍馬の生まれたまち記念館学芸員)、宮川禎一(京都国立博物館 考古室長) ●どうぞご期待下さい。

高知県立坂本龍馬記念館  
〒781-0262 高知市浦戸城山830

TEL(088)841-0001 FAX(088)841-0015  
http://ryoma-kinenkan.jp